

(2013年度)

2 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は21ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 以下の文章を読み、空欄(1～25)に、【語群】の選択肢(a～d)の中から1つ選んでマークしなさい。正解がない場合は、(e)をマークしなさい。

ちまたに知られている「赤壁の戦い」といえば、いうまでもなく中国の(1)時代の戦いで、(2)末期に、圧倒的な勢力を誇る(3)の(4)軍と、それに対抗しようとした某と某の連合軍が、長江で激突した戦いを意味する以外にないだろう。それは(5)代に原型が成立した『三国志演義』の影響で人口に膾炙したせいでもある。

実は、そのほぼ(6)の、イタリアはローマ近郊で、もうひとつの「赤壁の戦い」があったことはほとんど知られていない。時は某年10月28日、あるローマの将軍(7)が連戦連勝で旧都ローマに向かって軍を進めていた。場所は(8)川中流で、ローマの中心部から北にフラミア街道を9キロメートルほど行ったところ、「赤い岩壁」を意味するSaxa Rubraでのことだった。いずれにせよこの地名は、この付近の石灰岩が赤みを帯びていることに起因していた。迎え撃つは(7)の宿敵で篡奪皇帝の(9)軍。戦いの決着は(9)軍が(8)川に追い落とされることでついた。だが、ここでの戦いとその後の歴史の一大転換点となるとは、誰も夢想だにできなかったであろう。

ところで、(7)はこの戦いの直前に(10)の神から特異な啓示を受けていたと伝えられ、また(9)も同様に神託占いをし、それに基づいて勝利を期していた。いわばこれは新旧の神々の戦いでもあったわけである。結果的に勝利を手にしたのは(7)で、翌日旧都に凱旋入城を果たす。元老院は手のひらを返すように、この新参者の戦勝を祝賀して(11)を建設し、新支配者の意を迎えようとやっきとなる。そしておそらく同様に元老院は(7)の巨像をも献呈した。15世紀にフォロ・ロマーノの「(9)ないし(7)のバシリカ」跡から発掘されたその残骸は、現在カンピドリオの丘にあるコンセルヴァトーリ博物館中庭に展示されている。頭部が印象的なあの巨像である。

ところで、その丘の中央には、システイナ礼拝堂の壁画で有名な(12)の設計になる広場があり、その中心には(7)のものと誤解されて現代まで残存し得た(13)の騎馬像が鎮座して辺りに威厳を払っている。彼は『自省録』の著者

として著名だ。

さて、帝国西部を押さえた(7)は、その翌年に独自の政策を開始しはじめる。(10)を(14)する勅令を(15)で発布し、歴史的な大転換の第一歩を踏み出した。その後、単独皇帝の地位を得ると、(7)は、(10)の意志統一をめざして(16)で公会議を開催した。それは(14)の(17)年後のことだった。しかし、混乱は一向に収まらずむしろ混迷の度を深める結果となった。権力を手中に収めた集団は例外なく主導権争いの内紛へと向かうものだし、肝心の皇帝(7)自身の変節も混乱に輪をかけたからだ。結局、56年後に開催されたコンスタンティノープル公会議、さらに(18)年後の(19)公会議において、その正統信仰を再確認せざるをえないほどであった。

その間、(20)主義を標榜する背教者(21)の震度8に匹敵する揺り戻しを経て、世紀末には(22)が(10)を(23)するに及んだ。しかしながら、たとえば世紀転換期に偉大な神学者(24)が(25)など多くの著作を書き、また日常的な司牧活動において啓蒙に努めもしていたが、その民衆・農村レベルへの土着化はきわめて困難で、決して容易に達成されたわけではなかったし、理想通りとなったわけでもない。

【語群】

- (1) a 五胡十六国 b 春秋 c 戦国 d 三国
- (2) a 後漢 b 秦 c 新 d 前漢
- (3) a 呉 b 魏 c 蜀 d 晋
- (4) a 孫権 b 劉備 c 曹操 d 曹丕
- (5) a 元 b 宋 c 清 d 明
- (6) a 100年前 b 50年前 c 100年後 d 150年後
- (7) a カエサル b スラ c ポンペイウス
d コンスタンティヌス
- (8) a ポー b ルビコン c ドナウ d ティベル

- (9) a ハンニバル b カラカラ c クラッスス d マリウス
- (10) a ミトラス教 b キリスト教 c イシス教 d ユダヤ教
- (11) a 円形闘技場 b パンテオン c カタコンベ d 凱旋門
- (12) a ラファエロ b ミケランジェロ c ボッティチェリ
d ダ=ヴィンチ
- (13) a マルクス=アウレリウス b ハドリアヌス
c アントニヌス=ピウス d トラヤヌス
- (14) a 公認 b 破門 c 異端化 d 国教化
- (15) a ミラノ b カルケドン c ニケーア d エフェソス
- (16) a ミラノ b カルケドン c ニケーア d エフェソス
- (17) a 7 b 8 c 12 d 13
- (18) a 25 b 40 c 55 d 70
- (19) a ミラノ b カルケドン c ニケーア d エフェソス
- (20) a 単性論 b 異教 c アリウス d アタナシウス
- (21) a デイオクレティアヌス b テオドシウス c ネロ
d ユリアヌス
- (22) a デイオクレティアヌス b テオドシウス c ネロ
d ユリアヌス
- (23) a 公認 b 破門 c 異端化 d 国教化
- (24) a アウグストゥス b アルクイン c アウグスティヌス
d エウセビオス
- (25) a 『神学大全』 b 『教会史』 c 『神の国』 d 『神統記』

2 以下の文章を読んで、問(1～3)に答えなさい。

時代の変遷のなかで人類の遺産ともいえるべき歴史的建造物が破壊された例は少なくない。

グレゴリウス改革にも影響をあたえた(1)のクリュニー修道院もそのひと
(A) (7)

つである。この修道院は11世紀には教会刷新運動の拠点となっていたが、12世紀後半からは華美をきわめていった。13世紀まで営々と建造が続けられた修道院は全体が石の山のような威容で、壮麗な聖堂の全長は約190メートルもあった。これが現在の、聖堂のほんの一部を残して何もない野原に変貌したのは、フランス革命による。(2)の翌年1790年に修道院廃止令が出され、クリュニーでは1791年に修道士達が姿を消した。1793年には収蔵文書が焼却され、略奪の限りがつくされた。そして、その後、数十年にわたって都市部に石材を供給し続けたのである。

西ヨーロッパのすべての修道院の原点とも位置づけられ、西欧宗教建築美術の至宝であったモンテ=カシノも破壊されている。(3)が創設したこの修道院は、(4)の擁護⁽¹⁾などを受けて繁栄を続け、豪壮さを誇るようになった。これが、第二次大戦末の1944年に文字通り完全に破壊されたのである。1943年(5)にシチリアに上陸した連合軍は、イタリア本土南部に軍を進めていたが、モンテ=カシノ周辺の多数の丘からのドイツ軍の砲撃が北への進軍を阻んでいた。なかでもモンテ=カシノは難攻不落の地形をした丘で、連合軍は何の確証もないまま、そこにドイツ軍が陣営を張っていると判断した。そして、激しい空爆と砲撃によって禿げ山と廢墟⁽²⁾に変貌させたのである。じつのところドイツ軍は、修道院の文化的価値を尊重し、1943年末にはドイツ軍イタリア方面総司令官が修道院内へのドイツ軍部隊の配置・陣地化を行わないよう命じ、そのことを連合軍に通知していた。ドイツ軍はまた、連合軍砲撃の前に数多くの貴重な文化財をヴァチカンに避難させている。なかには、(6)など古代ローマの著作の写本や、ラファエロ、レオナルド=ダ=ヴィンチら巨匠の絵画もあった。

ギリシアのパルテノン神殿も近代にはいって砲撃されている。この(7)を奉じた神殿は(8)で破壊されたが、ペリクレスの命令で再建された。その美術、建築は、すでにヘレニズム時代から規範とすべき至高の古典作品としての地位を獲得していた。⁽³⁾しかし、(9)占領後の1460年にはモスクに改変され、後には火薬庫に利用されていた。これが、(10)の4年後の1687年、ヴェネツィア⁽⁴⁾(11)の砲撃によって爆発炎上し、甚だしい損傷を受けたのである。焼け残った彫刻は、1806年にエルギン⁽⁵⁾卿によってイギリスに持ち帰られ、最終的に大

英博物館に売却された。

北京郊外の、イタリア人イエズス会士(12)らが設計した円明園はバロックと中国様式の融合による豪華をきわめた庭園であったが、アロー戦争^(E)の際に破壊された。北京を占領した英仏軍のうち、まずフランス軍が略奪を行ない、その後^(F)にイギリス軍が「捕虜が虐待されたことに対する復讐^{しゅう}」として徹底的に破壊したのである。

問1 空欄(1~12)にもっとも適切なものを選択肢(a~e)から1つ選びなさい。

- (1) a ベネディクト派 b フランシスコ会 c ドミニコ会
d イエズス会 e シトー会
- (2) a 封建的特権の有償廃止 b ヴァレンヌ逃亡事件 c 立法議会
d ヴァルミーの戦い e 英仏通商条約
- (3) a ベネディクトゥス b ペテロ c グレゴリウス
d レオ1世 e ベルナルドゥス
- (4) a ランゴバルド b 西ゴート c ヴァンダル
d アングロ=サクソン e フランク
- (5) a 1月 b 3月 c 6月 d 7月 e 9月
- (6) a ホメロス b ヘシオドス c ピンダロス
d アリストファネス e ホラティウス
- (7) a 女神アルテミス b 女神デメテル c 女神アテナ
d 女神アフロディテ e 女神ヘステイア
- (8) a ペルシア戦争 b イオニア植民市の反乱
c ペロポネソス戦争 d トロイア戦争 e オストラシズム
- (9) a オスマン朝 b ティムール朝 c マムルーク朝
d ナスル朝 e ザンギー朝
- (10) a カルロヴィッツ条約 b 第二次ウィーン包囲
c レパントの海戦 d ナントの王令廃止
e ネルチンスク条約

- (11) a 王国 b 共和国 c 帝国 d 公国 e 大公国
(12) a フランシスコ＝ザビエル b フェルビースト c レジス
 d カステイリオーネ e ブーヴェ

問2 下線(A～F)に関する問(1～6)に答えなさい。

- (1) 下線(A)に関する文(a～e)のうち、誤っているものを1つ選びなさい。
- a その中心をになったグレゴリウス7世は、いわゆる「カノッサの屈辱」で皇帝ハインリヒ4世の破門を解いた。
 - b 「カノッサの屈辱」後、皇帝ハインリヒ4世に追いつめられたグレゴリウス7世はサレルノに逃亡、同地で客死した。
 - c 皇帝ハインリヒ4世は息子のハインリヒ5世によって廃位され、失意のうちに没した。
 - d 聖職売買や聖職者妻帯を教会腐敗の象徴とみなした。
 - e 世俗の権威が司教や修道院長に指輪と杖によって聖職を叙任することは容認した。
- (2) 下線(B)と同じ年に起こった出来事でないものを、以下(a～f)から2つ選びなさい。
- a 最高価格令 b 王党派の乱 c メートル法
 - d ヴァンデーの農民反乱 e マラー刺殺 f ダントン処刑
- (3) 下線(C)と同時代人ではない人物を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。
- a エラスムス b ラブレール c ロイヒリン
 - d アインハルト e ホルバイン
- (4) 下線(D)と直接関係のない人物を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。
- a エウクレイデス b エラトステネス c ゼノン
 - d タレス e アルキメデス
- (5) 下線(E)と直接関係のあるものを選択肢(a～f)から2つ選びなさい。
- a ワトー b ゴヤ c ベラスケス
 - d アンデル e カラヴァッジョ f ミレー

- (6) 下線(F)に関する文(a～e)のうち、誤っているものを1つ選びなさい。
- a イギリスはイギリス国旗が侮辱されたと主張して、アロー戦争をおこした。
 - b 宣教師殺害事件で清朝に抗議していたフランスも参加した。
 - c 英仏両軍が広州占領後、天津に迫り、天津条約が締結された。
 - d 天津条約は外国公使の北京駐在などを内容とした。
 - e 天津条約では、英仏人のキリスト教信仰は許容されたが布教は禁じられた。

問3 下線(ア~ウ)の位置を地図のa~fから選びなさい。



3 中国を中心とする次のⅠ～Ⅳの間に答えなさい。なお、解答は各群指定の選択肢より選びなさい。

Ⅰ 次の(イ～へ)は、中国近代における主な事件を列挙したものである。それに関する問(1～5)に答えなさい。なお、解答は選択肢(a～f)から選びなさい。

- イ 九・三〇事件 ロ アロー号事件 ハ 西安事件
ニ 山東でのドイツ人宣教師殺害事件 ホ 済南事件
へ 五・三〇事件

問1 直接には中国と関係のない事件を1つ選びなさい。

- a イ b ロ c ハ d ニ e ホ f へ

問2 19世紀に起こった事件を2つ選びなさい。

- a イ b ロ c ハ d ニ e ホ f へ

問3 日中戦争の大きな転機をもたらした事件を1つ選びなさい。

- a イ b ロ c ハ d ニ e ホ f へ

問4 膠州湾占領・青島市建設の契機となった事件を1つ選びなさい。

- a イ b ロ c ハ d ニ e ホ f へ

問5 第二次山東出兵の過程で発生した事件を1つ選びなさい。

- a イ b ロ c ハ d ニ e ホ f へ

II. 次の(イ～ワ)は、中国(清朝・中華民国・中華人民共和国)が主に日本、ロシア(ロマノフ朝・ソ連邦)との間で交わした条約、宣言、協定等からなる。それらに関する問(1～8)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)よりもっとも適切なものを選びなさい。なお、正解がない場合には f をマークしなさい。

- | | | | | | |
|---|--------------|---|---------------|---|---------|
| イ | 日清修好条規 | ロ | カラハン宣言 | ハ | 下関条約 |
| ニ | カイロ宣言 | ホ | 塘沽停戦協定 | ヘ | ヤルタ協定 |
| ト | 九カ国条約 | チ | 日華平和条約 | リ | ポーツマス条約 |
| ヌ | 中ソ友好同盟相互援助条約 | ル | 露清条約(カッシーニ密約) | | |
| ヲ | 孫文・ヨッフエ共同宣言 | ワ | イリ条約 | | |

問1 日中(清)両国の正式な国交樹立を取り決めたものを次から選びなさい。

- a イ b ハ c ホ d ト e チ

問2 中国が事実上満州国の存在を認めた、とされるものを次から選びなさい。

- a イ b ハ c ホ d ト e リ

問3 中国の領土保全などの4原則を確認し、日本による二十一カ条条約を事実上無効としたものを次から選びなさい。

- a イ b ハ c ホ d ト e チ

問4 中国が対日賠償請求権の放棄を約したとされるものを次から選びなさい。

- a イ b ヘ c ト d チ e リ

問5 五四運動直後の中国に対し、帝政ロシア時代の対中国不平等条約の無償廃棄を提起したものを次から選びなさい。

- a ロ b ヘ c リ d ヌ e ヲ

問6 中国国民党の連ソ政策の発端となったとされるものを次から選びなさい。

- a ロ b ニ c ヘ d ヌ e ヲ

問7 開港場における外国企業設立を初めて許したものを次から選びなさい。

a イ b ハ c ヘ d リ e ヲ

問8 ヤクブ=ベクの反乱を機に生じた清露間の国境紛争の解決を図ったものを次から選びなさい。

a ロ b リ c ル d ヲ e ヲ

Ⅲ 次の(イ~レ)は近世・近現代の時期、中国に来往ないし中国と密接な関係を有した外国人を列挙したものである。それに関する次の問(1~6)に答えなさい。解答は選択肢(a~e)よりもっとも適切なものを1つ選びなさい。なお、正解がない場合にはfをマークしなさい。

イ	ムラヴィヨフ	ロ	マカートニー
ハ	ゴルバチョフ	ニ	フルシチョフ
ホ	マーシャル	ヘ	アダム=シャール
ト	ジョン=ヘイ	チ	スターリン
リ	マテオ=リッチ	ヌ	フェルビースト
ル	ウィット	ヲ	フランシスコ=ザビエル
ワ	レーニン	カ	キッシンジャー
ヨ	ニクソン	タ	ブレジネフ
レ	フランクリン=ローズヴェルト		

問1 中国に関する門戸開放・領土保全等の3原則を提唱した人物を次から選びなさい。

a ハ b ホ c ト d チ e ヲ

問2 イエズス会の中国への最初の伝道者とされる人物を次から選びなさい。

a ロ b ヘ c リ d ヌ e ヲ

問3 シベリア鉄道をフランス資本の支援で完成させ、ロシアの中国東北部への進出を精力的に図った人物を次から選びなさい。

a イ b ニ c チ d ル e ワ

問4 珍宝島(ダマンスキー島)事件等、中ソ国境紛争が険悪化した時のソ連の最高指導者を次から選びなさい。

a ハ b ニ c ル d ワ e タ

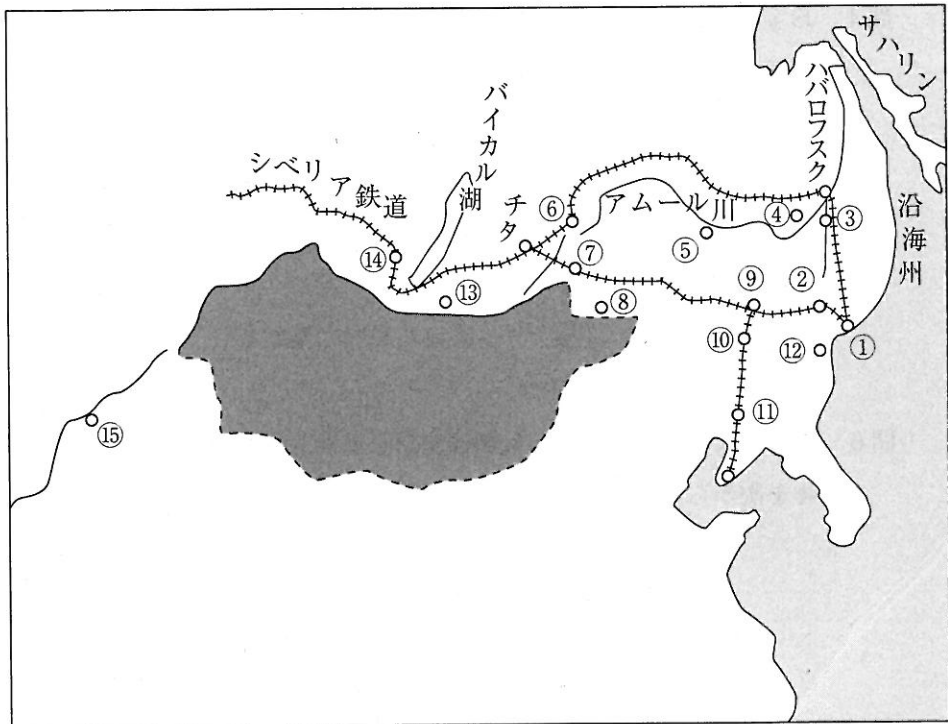
問5 国共内戦を調停し、国共連携による建国をめざし政治協商会議の開催に尽力した人物を次から選びなさい。

a ニ b ホ c チ d ヨ e レ

問6 第二次天安門事件の直前に中国北京を訪問し、中ソの対立緩和に尽力した人物を次から選びなさい。

a ハ b ニ c ホ d ヨ e タ

IV 次は19～20世紀の中国周縁の国境地帯を中心に描いた地図である。図中の○印(①～⑮)は都市・地点を、++++は鉄道を、網がけ部分は国・地域を示す。それに関する以下の問(1～6)に答えなさい。なお、解答は選択肢(a～f)より選びなさい。



問1 地図上の⑨の地名を次から選びなさい。

- a 満州里 b 長春 c チチハル d 綏芬河
e ハルビン f 琿春

問2 アムール川(黒龍江)を国境に定め、ウスリー川以東を共同管理とする条約の締結地を、次から選びなさい。

- a ① b ② c ③ d ④ e ⑤ f ⑥

問3 アルゲン川と外興安嶺を境とする国境画定を定めた条約の締結地を次から
選びなさい。

- a ④ b ⑤ c ⑥ d ⑦ e ⑧ f ⑬

問4 日本関東軍がソ連・モンゴル連合軍の機甲部隊に惨敗を喫した戦場を次から
選びなさい。

- a ⑦ b ⑧ c ⑩ d ⑪ e ⑫ f ⑬

問5 中ソ国境紛争で焦点となった珍宝島(ダマンスキー島)の所在地を次から選
びなさい。

- a ③ b ④ c ⑤ d ⑦ e ⑬ f ⑮

問6 網掛け部分は(外)モンゴルの地域・国家を指すが、この地域が社会主義国
家を樹立し、中国から独立を宣言した年を次から選びなさい。

- a 1911年 b 1918年 c 1922年
d 1923年 e 1924年 f 1946年

4 12世紀、スペイン・アンダルシア地方の学者であったイブン=ジュバイルは、
メッカ巡礼の旅をし、それを『旅行記』として記録に残した。次の文章は、彼の旅
の記録をおったものである。この文章を読み、問(1~25)に答えなさい。解答は
選択肢(a~e)の中からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

イブン=ジュバイルは、西暦1183年2月、グラナダの町からメッカ巡礼に旅
立った。セウタの港からジェノヴァ船に乗り、⁽¹⁾地中海を東に向かい、同年3月、
アレクサンドリアに着いた。その後ナイル川を上り、都カイロに到着し、そこに
⁽²⁾しばらく滞在した。それから、巡礼団の一行は、上エジプトのアイザーブから紅
⁽³⁾海を渡り、ジェッタに上陸した。こうしてイブン=ジュバイルは、1183年8月、
⁽⁴⁾メッカに入った。彼は、カーバ神殿をまわり、黒石に触れ、巡礼規則に従った一
⁽⁵⁾
⁽⁶⁾
⁽⁷⁾

通りの儀礼をはたした。メッカに滞在中に、ラマダーン月を過ごした。メッカを
発った一行は、メディナを訪れ、ここに5日間ほど滞在し、預言者の墓に参詣し
たり、学者サドル=アッディーンの説教をきいたりして過ごした。

⁽¹⁰⁾イブン=ジュバイルは、メディナを立ち、バグダードに向かった。途中クー
ファに立ち寄ったが、その近郊にあった第4代正統カリフ、アリーの墓⁽¹¹⁾ 廟を訪
れることができなかった、と述べている。そして、1184年5月、イラクのバグ
ダードに到着した。この町を建設した王朝はイスラーム支配体制とイスラーム文
明を⁽¹⁴⁾発展させたが、イブン=ジュバイルが訪れたころは往時の繁栄はなかった。
街中には大河の本流が流れ、さらに別の大河の支流とも一緒になって水運が発達
していた。⁽¹⁶⁾その後、バグダードを出発し、シリアに入り、アレppoを経由してダ
マスクスに到着した。この町はかつてウマイヤ朝の都だったところである。当時
のシリア地方一帯には、十字軍のキリスト教徒によるイエルサレム王国が支配
権を築いていた。しかし、同王国は1187年攻撃を受け、イエルサレム市を失うこ
とになる。

イブン=ジュバイルは、その後、地中海沿岸の町に出、1184年10月、ここから
出航した。一行を乗せた船は、荒波の海を西に向かい、シチリア島に到着した。
この島を統治するのはキリスト教徒であるが、かつてはイスラームの支配下に
あったので、彼が島を訪れたとき、まだ多数のムスリムが居住していた。それか
ら、シチリアを出航し、1185年4月、グラナダに戻った。

問1 下線部(1)について。当時、グラナダの町はどの王朝下にあったか。

- a 後ウマイヤ朝 b ムラービト朝 c ムワッヒド朝
d イドリース朝 e 西ゴート王国

問2 下線部(2)について。当時、アレクサンドリアの町はどの王朝下にあっ
たか。

- a ファーティマ朝 b セルジューク朝 c トゥールーン朝
d マムルーク朝 e アイユブ朝

問3 下線部(3)について。当時のカイロとカイロ周辺には存在しなかったものは何か。

- a アズハル学院 b ニザーミーヤ学院 c ピラミッド
- d ワクフ施設 e コプト教会

問4 下線部(4)について。当時、アイザーブの港には、遠く中国の陶磁器や東南アジアの香辛料も運ばれてきた。このころの、中国の陶磁器生産地としてもっとも有名な都市はどこか。

- a 広州 b 泉州 c 景德鎮 d 大都 e 大理

問5 下線部(5)について。ジェッタを含むアラビア半島西部の紅海沿岸一帯は歴史的に何とよばれていたか。

- a ヒジャーズ b ジャーヒリーヤ c フェルガナ
- d ホラーサーン e シンド

問6 下線部(6)について。メッカは、イスラームの聖地として今日まで重要な位置を占めてきている。以下の説明のうち、誤っているものはどれか。

- a メッカはイスラーム以前から商業都市として栄えていた。
- b ムハンマドはメッカで迫害を受けたため、メディナにヒジュラした。
- c メッカは、常に特定の王朝や政権から独立した地位を与えられてきた。
- d クライシュ族はメッカの有力部族であった。
- e メッカの町に入れるのは、原則的にムスリムだけである。

問7 下線部(7)について。カーバ神殿に関して誤っているものはどれか。

- a ムハンマドは、カーバ神殿内の偶像を破壊し、新しい偶像を安置した。
- b イスラーム以前のアラブ諸部族はカーバ神殿に巡礼していた。
- c ムスリムはカーバ神殿の方に向かって礼拝をする。
- d カーバ神殿は、メッカの聖モスク内に位置している。
- e メッカ巡礼の規則において、カーバ神殿の回り方は決まっている。

問8 下線部(8)について。ラマダーン月には、ムスリムに5つの義務行為(5行)の一つである断食が課される。5行とは、次の組み合わせのうちどれが正しいか。

- a 信仰告白・礼拝・断食・喜捨・メッカ巡礼
- b 信仰告白・聖戦・断食・喜捨・メッカ巡礼
- c 天使崇敬・聖戦・断食・喜捨・メッカ巡礼
- d 信仰告白・聖戦・断食・来世信仰・メッカ巡礼
- e 信仰告白・礼拝・断食・禁欲・メッカ巡礼

問9 下線部(9)について。メディナに関して、正しいものはどれか。

- a メディナに居住していたユダヤ教徒の多くはイスラームに改宗した。
- b ムハンマド時代、信仰の拠点(メッカ)はメディナにあり、政治権力の拠点はメッカにあった。
- c イスラーム以前、メディナは、紅海沿岸の交易都市として栄えた。
- d メディナは、キリスト教、ユダヤ教、イスラームの3宗教の聖地である。
- e メディナはメッカの北にある。

問10 下線部(10)について。イスラームの学者はふつう何と呼ばれるか。

- a アミール b スーフィー c ミナレット d ウラマー
- e マドラサ

問11 下線部(11)について。第4代正統カリフのアリーを暗殺した一派は次のうちどれか。

- a スンナ派 b 十二イマーム派 c ハワーリジュ派
- d イスマーイール派 e ワッハーブ派

問12 下線部(12)について。当時、名目的にせよ、バグダードを治めていた王朝はどこか。

- a アッバース朝
- b ルーム = セルジューク朝
- c イル = ハン朝
- d マムルーク朝
- e ティムール朝

問13 下線部(13)について。当時、イラク東方、イラン地方の状況の説明として正しいものはどれか。

- a モンゴル系王朝が勢力を張っていた。
- b セルジューク朝が衰退し、ホラズム朝が台頭しつつあった。
- c ブワイフ朝の支配下にあった。
- d カラ = ハン朝の侵入を受け、混乱状況にあった。
- e サファビー朝の勃興によりシーア派への改宗が進んだ。

問14 下線部(14)について。この王朝下で確立されたイスラーム支配体制の説明としてもっとも適切なものはどれか。

- a ムスリムとジンミーの税負担を完全に平等にする。
- b カリフ制を廃止し、スルタン制にする。
- c 「外来の学問」として位置づけられていた諸学問を「固有の学問」の中にくみ入れる。
- d 国内からムスリム以外の異教徒をすべて排除する。
- e 国家の統治秩序の基本をシャリーアに基づかせる。

問15 下線部(15)について。バグダードのイスラーム文明と直接的に関係のないものはどれか。

- a 「知恵の館」による翻訳・研究活動
- b 『千夜一夜物語』
- c ハールーン = アッラシード
- d タバリー
- e トプカプ宮殿

問16 下線部(16)について。この川は何という川か。

- a ユーフラテス川 b インダス川 c ティグリス川
- d ナイル川 e ガンジス川

問17 下線部(17)について。ウマイヤ朝に関する説明として正しいものはどれか。

- a イブン=シーナーはこの王朝下で活躍した。
- b この王朝下で戦われたタラス河畔の戦いによる捕虜が製紙法を伝えた。
- c この王朝の建国者はムアーウィヤである。
- d イブン=ルシュドはこの王朝下で活躍した。
- e カーリミー商人はこの王朝下で活躍した。

問18 下線部(18)について。第1回十字軍を提唱したローマ教皇は誰か。

- a クレメンス5世 b ボニファティウス8世
- c インノケンティウス3世 d フリードリヒ2世
- e ウルバヌス2世

問19 下線部(19)について。第7回十字軍ではルイ9世は聖地とは違う都市を攻撃した。その都市はどこか。

- a コンスタンティノーブル b チュニス c アレクサンドリア
- d アルジェ e トリポリ

問20 下線部(20)について。イエルサレム王国が建国されたのは何年か。

- a 1096年 b 1099年 c 1169年 d 1189年 e 1204年

問21 下線部(21)について。この年、イエルサレム王国を攻撃したのは誰か。

- a マリク=シャー b トゥグリル=ベク c バイバルス
- d サラディン e ティムール

問22 下線部(22)について。巡礼者の保護と聖墓の防衛を目的に設立されたキリスト教徒の組織を何というか。

- a ヨハネ騎士団 b テンプル騎士団 c シトー修道会
- d ドイツ騎士団 e ドミニコ修道会

問23 下線部(23)について。この町は、イエルサレム市が陥落した後、イエルサレム王国の拠点となった町である。それはどこか。

- a テイルス b アンカラ c アッコン d シドン
- e イスタンブル

問24 下線部(24)について。当時、シチリア島を統治していたキリスト教徒の王国の建国者は誰か。

- a ノルマディー公ウィリアム b フェリペ2世
- c フェルナンド5世 d ルッジェーロ2世
- e フリードリヒ1世

問25 下線部(25)について。イブン=ジュバイルがグラナダに戻ったころのスペインの状況の説明として、正しいものはどれか。

- a グラナダにナスル朝が建国されていた。
- b キリスト教徒軍はコルドバを征服し、レコンキスタを進展させていた。
- c トレドではアラビア語文献の翻訳がさかんに行われていた。
- d アラゴンとカスティリヤが統合され、スペイン王国が成立していた。
- e イブン=ハズムらのイスラーム神学者たちがコルドバで活躍していた。



